



あきほ

A K I H O

2020年 夏

vol. **46**

ご自由にお持ち
ください。





あなたによりそう 入退院支援のために



日本海総合病院内に開設した「入退院支援センター」。「そこで何をしているの?」「何のためにオープンしたの?」そう思っている方も多いのではないのでしょうか。今回は、入退院支援センターはどのようなところか、そして何をめざしているのか、についてお話しします。



キーワードは「PFM」

「PFM」とは、「Patient Flow Management」の頭文字をとったもので、患者さん (Patient) の入院が決まったとき、入院前から退院後までの一貫した流れ (Flow) を病院側でつくり、安心して治療に臨むことができるよう管理 (Management) することを意味します。PFM達成のためには、医師・看護師だけでなく、薬剤師・管理栄養士・社会福祉士などの多職種が入院前から連携して患者さんに関わることが不可欠となります。

事前に患者さんの基本情報を集めておくことで、さまざまなリスク[※]を回避するために先回りして対応することができるよう、多くの患者さんによりよい入院・治療計画を提供することが可能になります。

自分、またはご家族が入院することになったとき、多くの方はとまどい、不安を覚えるのではないでしょう。その不安の原因や個別のリスクを入院前から把握し、安心して住み慣れた地域に早く戻ることができるよう、職員一丸となってサポート

※リスクとは?

身体的リスク

既往歴・アレルギー・お薬など

精神的リスク

患者さんやご家族の入院生活、退院後の介護に対する不安・金銭的不安など

させていただく、それが入退院支援センターの役割です。

どんなことをやっているの?

入退院支援センターは看護師 (入院支援チーム・退院支援チーム)、薬剤師・薬剤業務補助、管理栄養士、事務スタッフで構成されており、センター内で全ての事前面談を完結することができるよう体制を整えています。入院前に各専門職が患者さんの生活状況を伺い、情報を集約することで入院から退院後まで継続して支援を行っています。

看護師

入院が決まったときから、患者さんの既往歴や入院までの経過、ご家庭の環境、介護保険サービス利用の

有無などを確認し、患者さんごとに必要な情報や不安などをお聞きし入院目的に合わせたご説明をしています。面談時にはOHA T問診（※詳細は次ページ）も実施しています。

入院後は、患者さんやご家族のご希望があれば退院支援チームの看護師が面談し、退院後の不安や療養生活のご希望を伺い、退院に向けた問題を一緒に考えています。そして、入院早期から主治医や病棟看護師、リハビリ部門、社会福祉士など多職種でカンファレンス（会議）を行い退院に向けた支援計画書を作成し、患者さんにご説明しています。患者さんのご意向をできる限り考慮しながら、かかりつけ医や訪問看護師、ケアマネジャーなどと連携し、不安なく安心して退院できるよう、退院後の療養環境を整えています。

管理栄養士

患者さんやご家族からアレルギー、食事内容、飲み込みや歯の状態などを面談でお伺いしています。聞きとり内容や患者さんのご希望をもとに、入院時に食事調整を行うことができますよう準備しています。

（例）

利き手を使うことのできない患者さん

↓主食をおにぎりに、副食はスプーンでも食べやすいように一口大に、魚は骨なし

むせやすい患者さん

↓食事をペースト状に、汁物はとろみをつけて

より細やかな対応が必要と判断された患者さんに関しては、早期から病棟担当や栄養サポートチームの管理栄養士に情報提供を行っています。

薬剤師 & 薬剤業務補助

患者さんが服用しているお薬について「おくすり手帳」をもとに聞き取りを行っています。

お薬を事前に把握しておくことにより、主治医は患者さんが入院する前から入院中に服用するお薬の準備をすることができ、患者さんは入院後も継続してお薬を使用することができます。

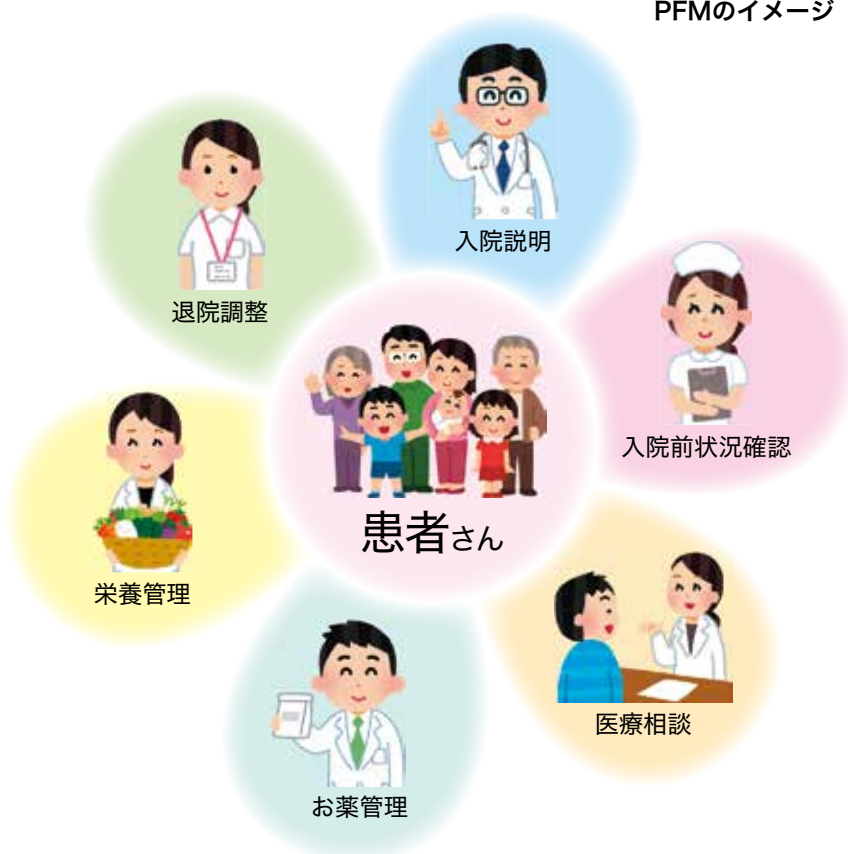
社会福祉士

病気やケガをする、医療費・今後の生活のことなどさまざまな心配

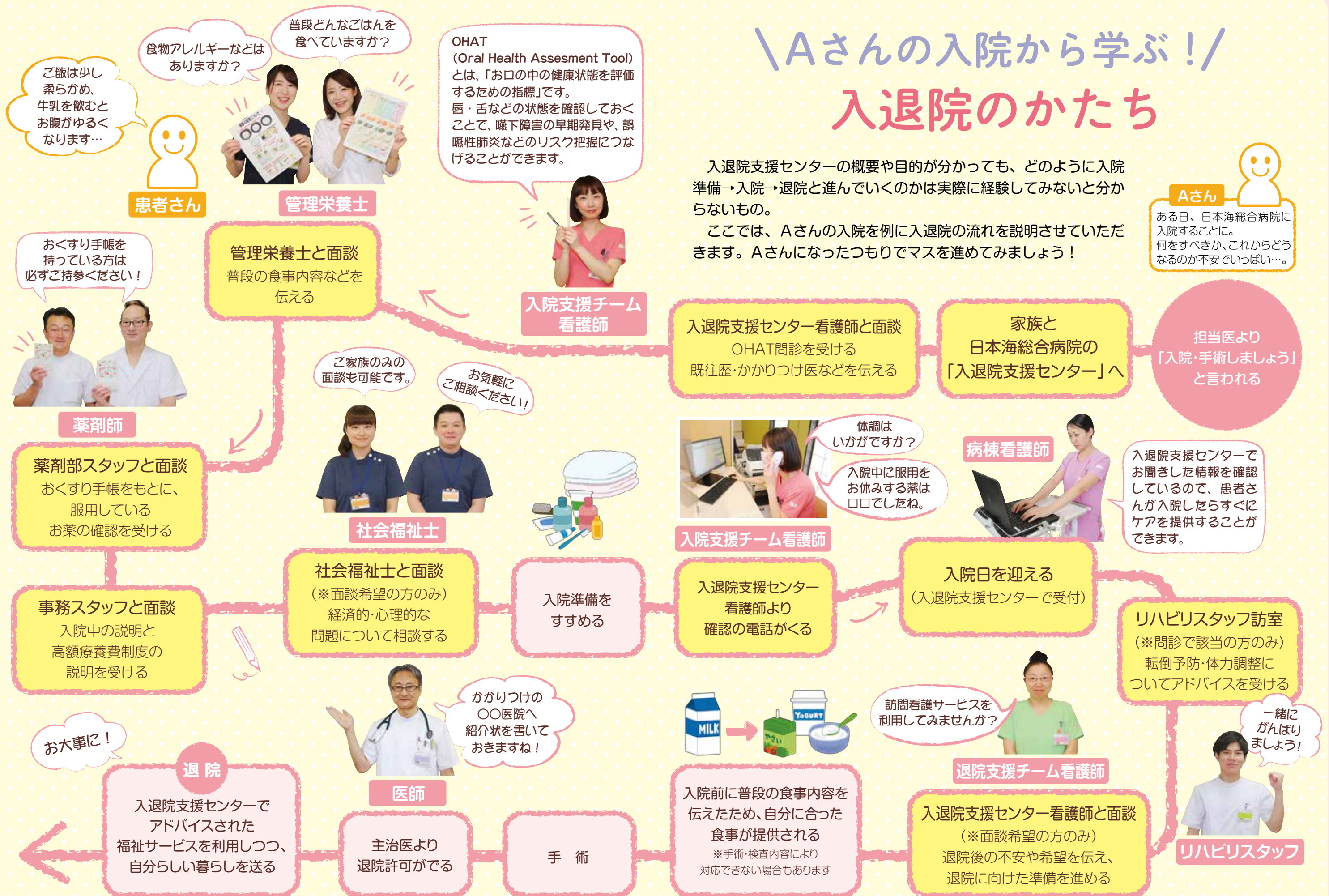
ことや困りごとが浮かんでくるもの。このようなときに社会福祉士が経済的な問題、心理的な問題に対して一緒に考え、安心して治療に臨むことができるようお手伝いしています。

橋渡しをする役割もあります。院内のさまざまな専門職がつながり、入院支援センターと病棟がつながり、地域の医療機関や療養施設とつながり、ひとりの患者さんを支えることができます。心のこもった医療サービス、支援が提供できるよう、尽力してまいりますので今後ともよろしく願います。

PFMのイメージ



\Aさんの入院から学ぶ！/ 入退院のかたち



私の 仕事 紹介リレー

入退院支援センター

看護師

池田 久美



〈自己紹介〉

看護師の池田久美です。大学病院に7年間勤務し、平成23年に日本海総合病院に入職しました。これまで循環器内科と外科病棟で勤務し、主に心不全や心筋梗塞、胃がんや肝臓・膵臓がんの手術を受ける患者さんの看護を行ってきました。今年2月より入退院支援センターで勤務しています。

〈担当業務〉

入退院支援センターは入院支援チームと退院支援チームに分かれています。入院支援チームは、予約入院の患者さんに対して、私たち看護師が中心となって病歴や入院までの経過の聴取、日常生活の状況などを確認しています。患者さんごとに必要

な情報やご希望、不安などを把握し、入院目的に沿った説明を行います。

またクリニカルパス（入院中の検査・手術・リハビリ予定などをスケジュール化した診療計画書）を用いての説明・オリエンテーション、管理栄養士と連携し栄養状態の確認、薬剤部と連携し持参薬の確認・かかりつけ医への問い合わせ、入院中にリハビリ介入が必要と考えられるときは理学療法士への情報提供、口腔ケアの確認などを行い、入院前に万全の準備をしています。そのため問診はある程度の時間をかけて面談しながらひとつひとつ確認をして丁寧な情報収集しています。外来や病棟看護師とも連携をとり、患者さんひとりひとりに合った入院治療および看護が出来るように努めています。

また入院が近くなった患者さんに対して電話で体調の確認もしています。手術前に中止が必要な薬や禁煙・禁酒の有無についても確認し、スムーズに入院して治療が開始できるように支援しています。

〈心がけていること〉

患者さん、ご家族にとって入院するということは、治療への不安や緊張、生活や経済的にも不安な要素がたくさんあることと思います。入院前から退院に向けて患者さんやご家族が身体的・心理的・社会的・経済的にも安心して治療に専念できるように多職種で協力して支援しています。



す。病棟と違いひとりの患者さんに関わる時間は短いです。不安な点を伺い、入院生活や退院後について説明することで信頼関係を築いていけるよう親切で納得のいく説明、相談しやすく丁寧な対応を心がけています。

また、患者さん、ご家族は、外来診療や検査処置、各待ち時間などを経て入退院支援センターにいらっしゃるケースが多く、院内滞在時間も長くなっています。問診時は、患者さん、ご家族の気分や体調の変化などがなければ注意して声を掛け、その人に応じた簡潔でわかりやすい説明なども心がけています。

〈やりがいを感じるとき〉

患者さんの笑顔や「ありがとう」という言葉にはいつも力をもらっています。「入院が心配だったけど話を聞いて安心した」、「入院前に親身になって相談にのってもらって心強かった」、「入院のイメージがよかった」と嬉しい言葉をいただき、日々励まされています。全科の患者さんに関わることで幅広い知識が必要となります。日々研鑽を積みながら、入院と外来をつなぐ役割を担っていきたいと思っています。



医師異動

転入者

日本海総合病院

1 前任地 2 趣味・特技



血液内科

鳥居 由佳

1 山形大学医学部附属病院
2 料理・旅行



腎臓内科

阿部 真也

1 山形県立中央病院
2 映画鑑賞・旅行



消化器内科

小山 創志

1 公立置賜総合病院
2 旅行



消化器内科

西尾 洋人

1 国立国際医療研究センター
2 テニス



消化器内科

佐藤 瞭

1 山形県立中央病院
2 剣道・お酒



精神科

高田 和尚

1 山形県立
こころの医療センター
2 旅行



整形外科

村上 成人

1 公立置賜総合病院
2 バドミントン・
ゴルフ・旅行



整形外科

長瀬 紗枝子

1 山形大学医学部附属病院
2 ジョギング



泌尿器科

菊田 雅斗

1 山形大学医学部附属病院
2 旅行



泌尿器科

小島 遼一

1 米沢市立病院
2 テニス・スノボ



耳鼻咽喉・頭頸部外科

岡崎 雅

1 山形大学医学部附属病院
2 読書



放射線科

高梨 悠

1 山形大学医学部附属病院
2 釣り・スポーツ観戦



初期研修医 (2年次)

飯塚 敦士

1 山形大学医学部附属病院
2 家庭菜園



初期研修医 (2年次)

佐藤 礼子

1 公立置賜総合病院
2 化粧品集め・
映画・Youtube



初期研修医 (1年次)

相沢 みづな

1 山形大学
2 旅行・テニス



初期研修医 (1年次)

夷藤 明日香

1 自治医科大学
2 旅行



初期研修医 (1年次)

伊東 万里

1 山形大学
2 将棋・ドライブ・お酒



初期研修医 (1年次)

猪俣 怜奈

1 山形大学
2 料理・音楽



初期研修医 (1年次)

甲州 健太

1 秋田大学
2 ダイビング・
釣り・キャンプ



初期研修医 (1年次)

佐藤 さくら

1 山形大学
2 温泉



初期研修医 (1年次)

佐藤 義将

1 東北大学
2 合気道



初期研修医 (1年次)

下津 陽平

1 東京医科歯科大学
2 キャンプ・釣り・野球



初期研修医 (1年次)

高橋 直弘

1 山形大学
2 野球・スノーボード



初期研修医 (1年次)

三浦 裕希

1 山形大学
2 旅行・温泉



初期研修医 (1年次)

八島 誠司

1 山形大学
2 フットサル・映画鑑賞



歯科研修医

高橋 侑吾

1 東北大学
2 野球・バスケット・旅行

日本海八幡クリニック

1 前任地 2 趣味・特技



診療部門

寺田 太一

1 朝日町立病院
2 自転車・お酒

転出者

新任地

日本海総合病院

内科	大山みどり	山形市立病院済生館
内科	阿部 一輝	東邦大学医療センター佐倉病院
内科	小川 恭司	公立置賜総合病院
内科	柳谷 稜	山形大学医学部附属病院
循環器内科	柳津 俊介	鶴岡市立荘内病院
循環器内科	枝村 峻佑	鶴岡市立荘内病院
消化器内科	中村 秀平	山形県立中央病院
消化器内科	須田 健生	山形大学医学部附属病院
精神科	金野 広和	山形県立こころの医療センター
神経内科	鈴木 大介	山形大学医学部附属病院
神経内科	小井戸一貴	山形県立中央病院
小児科	阿部 拓哉	山形大学医学部附属病院
緩和ケア内科	菅原 浩	退職
整形外科	岡田宗一郎	山形県立新庄病院
整形外科	渋谷 真大	吉岡病院
泌尿器科	高井 諭	公立置賜総合病院
耳鼻咽喉・頭頸部外科	岡崎 慎一	山形大学医学部附属病院
耳鼻咽喉・頭頸部外科	小泉 優	山形大学医学部附属病院
耳鼻咽喉・頭頸部外科	野内 雄介	山形県立中央病院
放射線科	新野 一穂	山形大学医学部附属病院
麻酔科	百瀬 望	退職
初期研修医②	池田あかり	済生会横浜市東部病院
初期研修医②	市川 翼	山形大学医学部附属病院
初期研修医②	今井 洋汰	山形県立新庄病院
初期研修医②	狩野龍之介	山形県立こころの医療センター
初期研修医②	佐藤 成	水戸協同病院
初期研修医②	平野 れな	山形大学医学部附属病院
初期研修医②	武士 ゆい	山形大学医学部附属病院
歯科研修医	池田 康紘	医療法人社団徳誠会鎌倉大船歯科
歯科研修医	櫻井 信人	東北大学歯科口腔外科学科

ご支援ありがとうございます



新型コロナウイルス対応を行う当機構に対し、たくさんの企業、一般の方からあたたかいお気持ちをいただき、ありがとうございます。皆さまからのお気持ちをいただくたび、病院は多くの方々に支えられていることをより一層感じ、心強く感じております。



このような大きな出来事を前にしたとき、実感するのは「いつもの日常」の尊さ。

「いつもの日常」を取り戻すため、当機構では入院患者さんへの面会制限などを行っております。ご不便をお掛けしますが、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



虹プロジェクトはじめました



「虹プロジェクト」とは、患者さんや病院職員の心を少しでも明るくすることを目的に、地域の皆さまに作成いただいた塗り絵・ちぎり絵を日本海総合病院の1階渡り廊下に展示する催しです。以前から院内でワークショップを開いているHospital Heart Actさんから、虹のちぎり絵をいただいたことがきっかけとなりました。

漠然とした不安を感じてしまいがちな今日このごろ。だからこそ、アートに触れてほっとひと息ついてみませんか。ご来院の際はぜひお立ち寄りください。

表紙の

ひと・こと

日本海総合病院
入退院支援センター 看護師

入院・手術が人生の転機となる方もいらっしゃるからこそ、患者さんとご家族の方々が退院後にどのような生活を送りたいか、じっくりお話しさせていただいています。面談はじめは世間話からでも大丈夫です。皆さんの思っていること、不安に思っていること、何でも教えてください。

地方独立行政法人
山形県・酒田市病院機構

< 基本理念 >

1. 安心、信頼、高度な医療提供
2. 保健、医療、福祉の地域連携
3. 地域に貢献する病院経営

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。

☎ 0234-26-2001(代表)

日本海総合病院 経営企画課広報誌担当まで

✉ kikaku@nihonkai-hos.jp

日本海総合病院では広報誌以外にも情報発信を行っています！

f 臨床研修Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kensyu

f 看護部Facebook 公式ページ

www.facebook.com/nihonkaihos.kango

🐦 日本海総合病院 Twitter 公式アカウント @nihonkai_hosp